

受け継ぐバトン

～亀岡市立安詳小学校 開校150周年記念式典～

6月3日(土)、桂川市長様をはじめ約50名のご来賓をお招きし、開校150周年の記念式典を開催しました。



本校の誕生は、明治5年(1872)8月に発令された「学制」にもとづき、翌明治6年(1873)6月1日、桑田郡第1小学校区の小学校が篠村の浄行院という寺を校地に開校されました。その後、明治10年(1877)京都府初代知事 榎村正直 が校名を「安詳館」と名付けました。この校名は、安詳小学校として今も受け継がれています。

式典には、児童を代表して5年生と6年生が参加し、「本校は、令和4年度末で巣立っていった卒業生が12772名を数え、歴史と伝統ある大規模校」という第24第校長 竹岡敏 先生のメッセージにも、耳を傾けていました。

後半には、6年生が運動会で演じたフラッグを使用した演技やソーラン節を披露し、力いっぱい表現する真剣な姿に大きな拍手が送られました。

この式典が児童にとって、本校の長い歴史を知るとともに、地域の方々とのつながりを少しでも感じる機会になってほしいと期待しています。



記念品として、篠町自治会より「運動会優勝旗」「旧校旗額装」、篠町自治会篠区より「ステンレス校名板」、PTAより「体育館ステージ垂れ幕」「校旗」「紙製クリアファイル」をいただきました(「紙製クリアファイル」は、児童一人ひとりが持ち帰っています)。ありがとうございました。